

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2024年10月から12月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2024年10月～12月

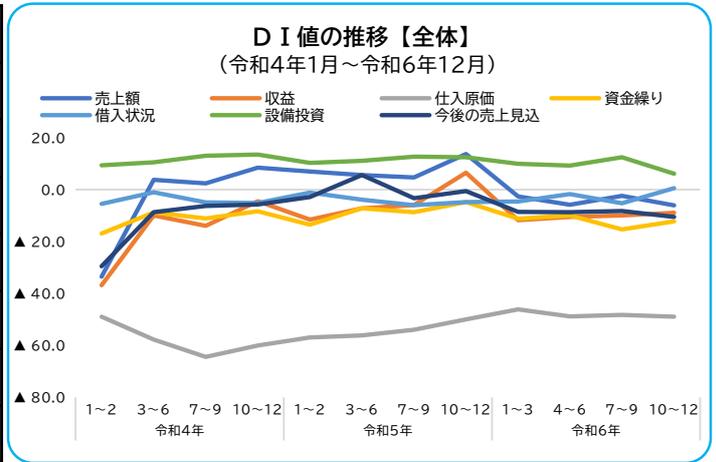
【調査方法】 建設業、小売業、卸売業、製造業、飲食・観光業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数90社、回答率75.0%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100-(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

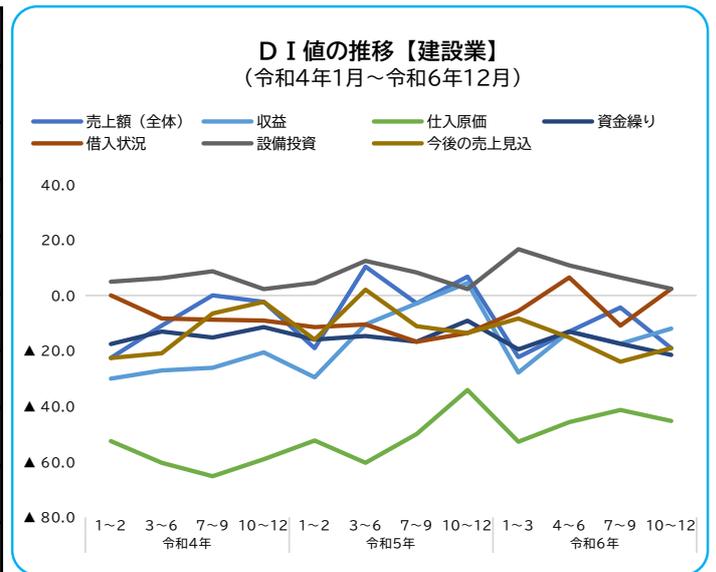
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	1	28	29	23	9	減少	▲6.1
収益	増加	1	22	36	22	9	減少	▲8.9
仕入原価	低下	0	3	13	57	17	上昇	▲48.9
資金繰り	好転	1	5	61	17	6	悪化	▲12.2
借入状況	減少	0	16	63	7	4	増加	0.6
設備投資	増加	3	13	68	4	2	減少	6.1
今後の売上見込	増加	0	18	39	29	4	減少	▲10.6



全産業における2024年10月から12月のDI値は、借入状況、設備投資以外の項目でマイナスとなっており依然として厳しい状況がうかがえる。特に売上額、収益、今後の売上見込については、全ての業種で悪化しており、前年同期と比較して売上額は▲19.8ポイント、収益は▲15.4ポイント、今後の売上見込は▲10.0ポイント悪化となっている。仕入原価については、前年同期と比較して1.1ポイント改善しているものの▲48.9ポイントと依然として上昇しており、収益減少の一因となっている。現在直面している経営上の問題点については、「仕入原価の高騰」が68.9%と2期連続(2022年1月～2月調査以降)で最も多く、次に「経費の高騰」が51.1%となっている。今後、求められる施策や支援策については「原材料・燃料価格の高騰対策」が58.9%と最も多く、次に「補助金・助成金」が50.0%となっている。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	8	1	8	4	減少	▲19.0
公共工事(元請)	増加	0	6	4	3	3	減少	▲9.4
民間工事(元請)	増加	2	4	4	8	2	減少	▲10.0
下請工事	増加	0	6	4	3	4	減少	▲14.7
収益	増加	0	7	5	6	3	減少	▲11.9
仕入原価	低下	0	0	5	13	3	上昇	▲45.2
資金繰り	好転	0	1	13	4	3	悪化	▲21.4
借入状況	減少	0	4	14	3	0	増加	2.4
設備投資	増加	0	3	16	2	0	減少	2.4
今後の売上見込	増加	0	3	8	9	1	減少	▲19.0

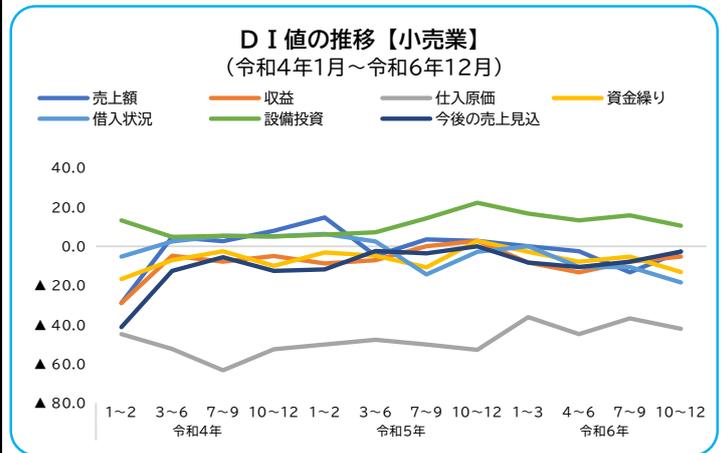


*公共工事なし5件、民間工事なし1件、下請工事なし4件

建設業のDI値は、借入状況、設備投資以外の項目でマイナスとなっており、特に売上については、昨年同期と比較すると公共工事(元請)が6.2ポイント改善しているものの、民間工事(元請)が▲29.2ポイント、下請工事が▲5.3ポイント減少しており、売上額(全体)は▲25.8ポイントと大幅に減少している。しかしながら、借入状況は前年同期と比較し16.0ポイント改善している。現在直面している経営上の問題点では「人手不足」が76.2%(16件)と最も多く、深刻な状況である。求められる施策や支援策については、「補助金・助成金」が61.9%(13件)が最も多く、次に「原材料・燃料価格の高騰対策」が57.1%(12件)となっている。

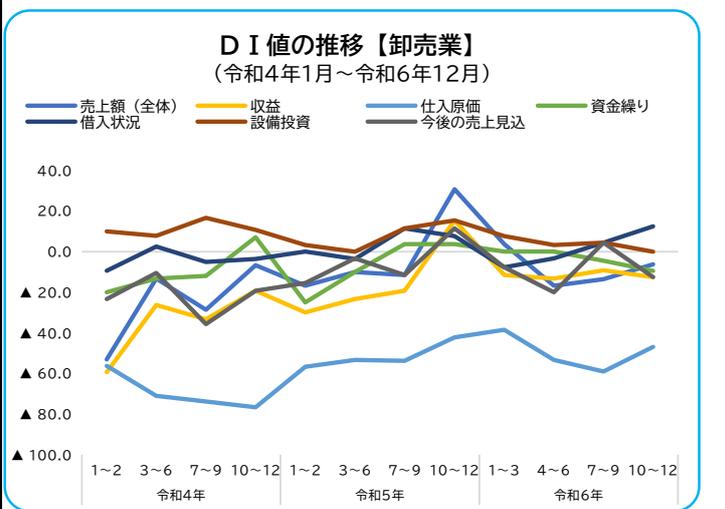
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	3	12	4	0	減少	▲ 2.6
収益	増加	0	2	13	4	0	減少	▲ 5.3
仕入原価	低下	0	0	4	14	1	上昇	▲ 42.1
資金繰り	好転	0	0	15	3	1	悪化	▲ 13.2
借入状況	減少	0	0	14	3	2	増加	▲ 18.4
設備投資	増加	1	2	16	0	0	減少	10.5
今後の売上見込	増加	0	4	10	5	0	減少	▲ 2.6

小売業のDI値は、設備投資以外の全ての項目でマイナスとなっており、依然として厳しい状況が続いている。特に資金繰りは▲13.2ポイントと昨年同期と比較して▲16.0ポイントと大幅に悪化しており、借入状況についても▲18.4ポイントと昨年同期と比較して▲15.6ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が52.6%（10件）と最も多く、次に「売上減少」と「経費の高騰」が42.1%（8件）となっている。求められる施策や支援策については、「補助金・助成金」が57.9%（11件）が最も多くなっている。



卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	9	3	1	減少	▲ 6.3
市内売上	増加	0	0	10	2	4	減少	▲ 31.3
市外売上	増加	0	3	9	1	2	減少	▲ 6.7
収益	増加	0	3	8	3	2	減少	▲ 12.5
仕入原価	低下	0	2	1	9	4	上昇	▲ 46.9
資金繰り	好転	0	2	9	5	0	悪化	▲ 9.4
借入状況	減少	0	4	12	0	0	増加	12.5
設備投資	増加	0	2	13	0	1	減少	0.0
今後の売上見込	増加	0	4	6	4	2	減少	▲ 12.5

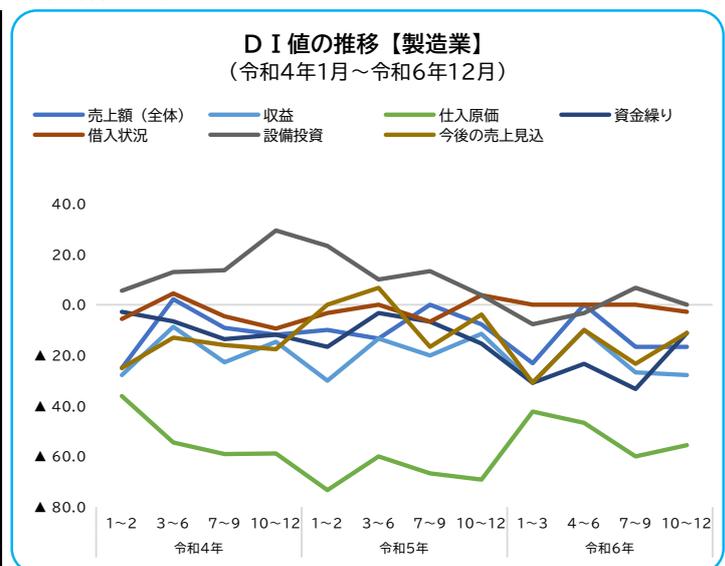
卸売業のDI値は、昨年同期と比較して売上額（全体）▲37.1ポイント、市内売上▲46.7ポイント、市外売上▲37.5ポイントと大幅に悪化している。また、今後の売上見込については▲12.5ポイントと昨年同期と比較して▲24.0ポイントと大幅に減少しており、厳しい状況が続くと思われる。しかしながら借入状況については12.5ポイントと昨年同期と比較して4.4ポイント改善となっている。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が81.3%（13件）と最も多くなっている。求められる施策や支援策については、「原材料・燃料価格の高騰対策」が75.0%（12件）が最も多くなっている。



*市外売上なし1件

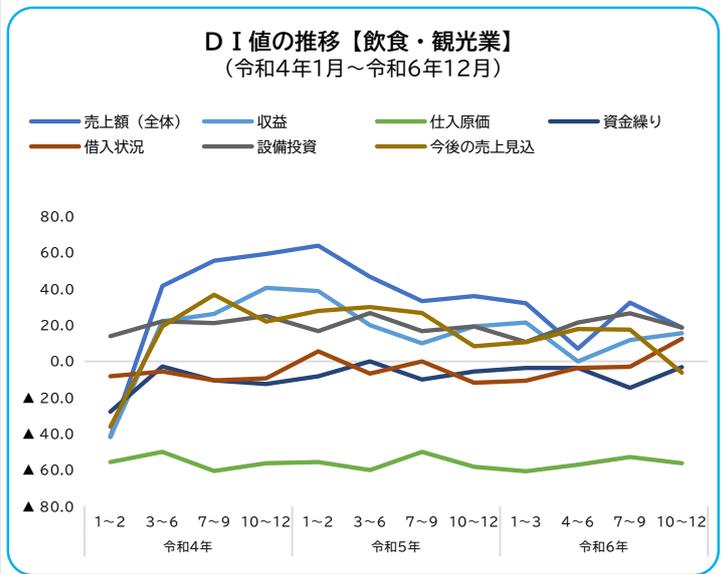
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	5	5	5	3	減少	▲ 16.7
市内売上	増加	0	5	5	5	2	減少	▲ 11.8
市外売上	増加	0	5	9	1	1	減少	6.3
海外売上	増加	0	1	2	1	0	減少	0.0
収益	増加	0	3	5	7	3	減少	▲ 27.8
仕入原価	低下	0	0	2	12	4	上昇	▲ 55.6
資金繰り	好転	1	1	11	3	2	悪化	▲ 11.1
借入状況	減少	0	4	11	1	2	増加	▲ 2.8
設備投資	増加	1	1	14	1	1	減少	0.0
今後の売上見込	増加	0	4	6	8	0	減少	▲ 11.1

製造業のDI値は、市内売上が▲11.8ポイントと昨年同期と比較して▲24.3ポイント、収益についても▲27.8ポイントと昨年同期と比較して▲16.3ポイントと大幅に悪化している。しかしながら、市外売上は6.3ポイントと昨年同期と比較して15.4ポイント増加している。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」と「経費の高騰」が66.7%（12件）と最も多い。求められる施策や支援策については、「原材料・燃料価格の高騰対策」が61.1%（11件）が最も多く、次に「補助金・助成金」が50.0%（9件）となっている。



*市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし14件

飲食・観光業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	9	2	3	1	減少	18.8
地元売上	増加	1	1	11	2	1	減少	▲ 3.1
日本人観光客売上	増加	0	4	8	3	1	減少	▲ 3.1
インバウンド売上	増加	2	10	2	2	0	減少	37.5
収益	増加	1	7	5	2	1	減少	15.6
仕入原価	低下	0	1	1	9	5	上昇	▲ 56.3
資金繰り	好転	0	1	13	2	0	悪化	▲ 3.1
借入状況	減少	0	4	12	0	0	増加	12.5
設備投資	増加	1	5	9	1	0	減少	18.8
今後の売上見込	増加	0	3	9	3	1	減少	▲ 6.3

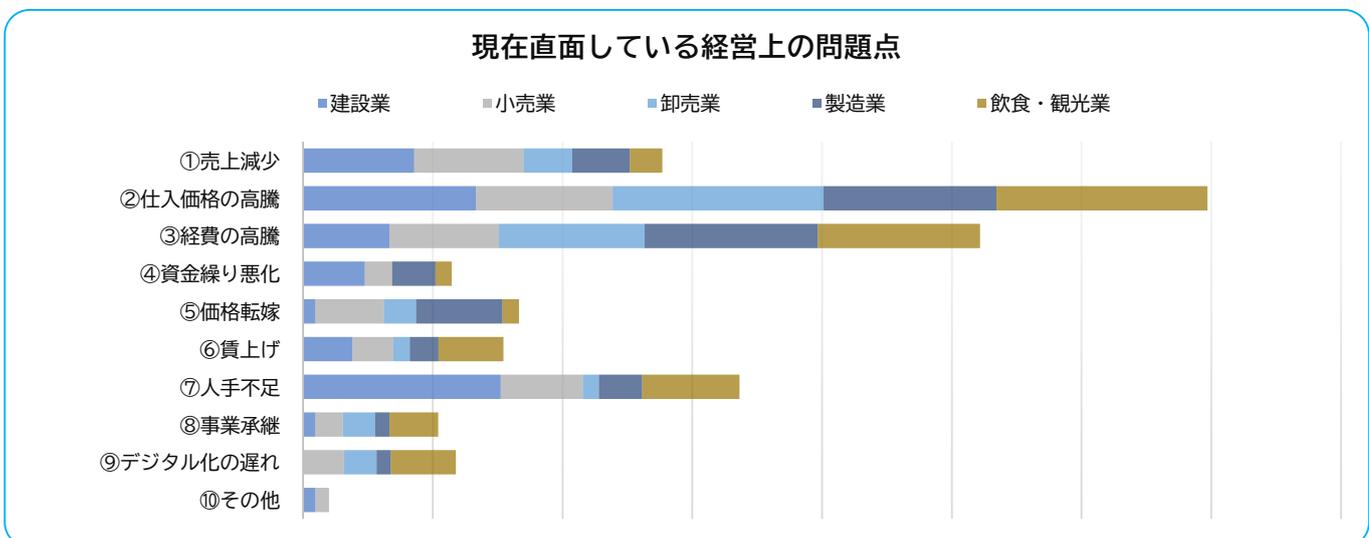


*日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし1件

飲食・観光業のDI値は、日本人観光客売上が▲3.1ポイントと去年同期と比較して▲19.8ポイントと大幅に減少している。しかしながらインバウンド売上は去年同期と比較すると▲3.7ポイントの微減であるが依然として好調で37.5ポイントとなっている。設備投資については18.8ポイントと去年同期と比較して▲0.6ポイントの微減となっているが、6社(37.5%)が増加と回答されている。現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」が81.3%(13件)と最も多い。求められる施策や支援策については、「原材料・燃料価格の高騰対策」が75.0%(12件)が最も多い。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①売上減少	9	8	3	4	2	26	28.9%
②仕入価格の高騰	14	10	13	12	13	62	68.9%
③経費の高騰	7	8	9	12	10	46	51.1%
④資金繰り悪化	5	2	0	3	1	11	12.2%
⑤価格転嫁	1	5	2	6	1	15	16.7%
⑥賃上げ	4	3	1	2	4	14	15.6%
⑦人手不足	16	6	1	3	6	32	35.6%
⑧事業承継	1	2	2	1	3	9	10.0%
⑨デジタル化の遅れ	0	3	2	1	4	10	11.1%
⑩その他	1	1	0	0	0	2	2.2%



【その他】

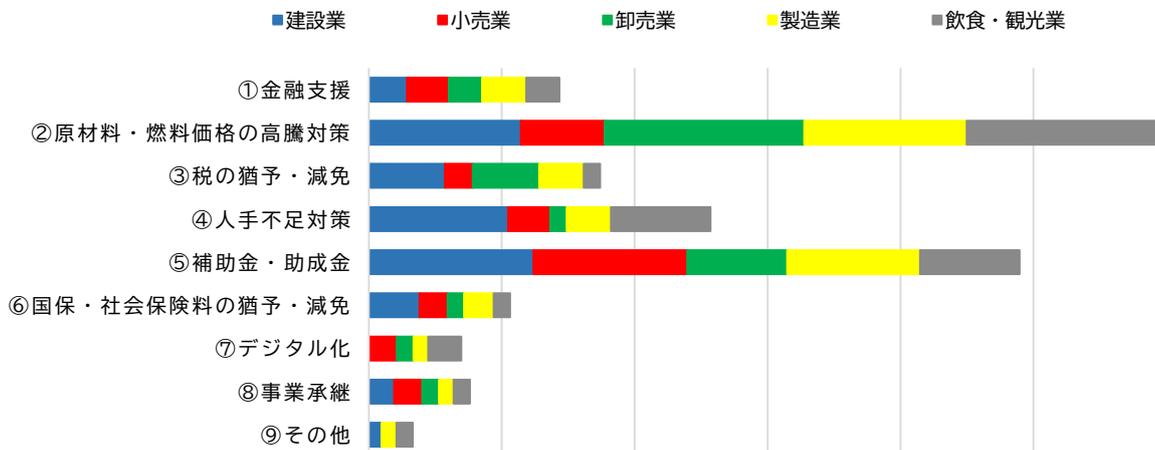
《建設業》人手不足と更なる働き方改革により、現場が回らない。また、材料を届けてくれない、下請の仕事の状況が悪い等により、利益が全くでない等の問題が多々ある。

《小売業》広告戦略、集客

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①金融支援	3	3	2	3	2	13	14.4%
②原材料・燃料価格の高騰対策	12	6	12	11	12	53	58.9%
③税の猶予・減免	6	2	4	3	1	16	17.8%
④人手不足対策	11	3	1	3	6	24	26.7%
⑤補助金・助成金	13	11	6	9	6	45	50.0%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	2	1	2	1	10	11.1%
⑦デジタル化	0	2	1	1	2	6	6.7%
⑧事業承継	2	2	1	1	1	7	7.8%
⑨その他	1	0	0	1	1	3	3.3%

今後、求められる施策や支援策



【その他】

《建設業》工事金額(単価、経費)の大幅なUP。

《製造業》国内消費振興

《飲食・観光業》コロナ融資返済の減免

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。